

〈令和元年度藤沢市公益的市民活動助成事業〉

団体名	NPO法人 自由創造うぽたんぽぼ
企画名	「不登校の居場所」普及啓発
補助金額	300,000円

企画の目的

少子化の中、増え続ける不登校を取り巻く環境改善のための「不登校理解」普及啓発活動の組織基盤強化

主な内容と成果

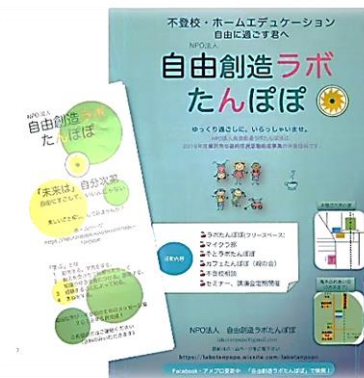
- ・不登校理解への情報発信、普及啓発

不登校家庭は周囲の無理解に苦しむことが多いため、講演会やセミナーを通して、不登校理解への情報発信、普及啓発事業を行うことで、子供の居場所サポーターを増やし、運営基盤の強化を図った。たんぽぼ不登校セミナーや教育に関する講演会、中学校での不登校についてのお話会など、居場所の大切さを伝える活動を計11回開催し、合計597名の参加があった。

オンライン会議システムツールを導入したことで、遠隔地からの参加もあり、また、新型コロナウイルス感染拡大の中でも、居場所の活動や不登校サポーター講座を止めることなく実施できた。

講演会やセミナーを積極的に行った結果、民生委員や学校関係者が集まる勉強会で不登校をテーマに講師に招いていただいた。また、中学校での不登校のお話会も2回開催が実現し、「また来年も開催したい」と先生方からも高評価を得られ、地域への啓発が順調に進んでいると感じた。

ブログやFacebook、Twitter、LINE等でも積極的に発信し続けた結果、ブログフォロワーが企画実施前の195名から369名に増加し、受益者の増加につながっている。また、会員は、昨年度の15名から21名に増加した。



講演会「最先端の教育とは～多様なマナビのカタチ」(写真左)では、脳科学者の茂木健一郎さん、サイエンス作家の竹内薫先生を迎え、学校以外の豊かな学びについて話を伺った。写真右は活動紹介リーフレット。

反省点・課題など

・初めての助成金で予算立てが難しかったが、1年を通して実施した経験から、次回はもっと潤滑にできる自信がついた。今回は普及啓発に力を入れたので認知度は上がったが、それに伴う事務作業が増え、スタッフ不足も伴い、アフターフォローに手が回らなかった。

・普及啓発のための講演会開催は土日でないだと集客が難しい。また、講演会の金額設定も難しいが、できる限り低価格設定で開催するのが良いと感じた。